

企業理念

わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

行動指針

信頼を築く
技を磨き、伝える
夢をいだき、挑戦する

企業行動5つの誓い

法令遵守 ▶ その行為は法律に違反していないか

企業倫理 ▶ その行為は企業理念や倫理に違反していないか

社会常識 ▶ その行為は社会の常識か

社会の目 ▶ その行為は社会の目、安心、安全にそむいていないか

自分の心 ▶ その行為は間違いはないか、自分の心に問いかける

CSR活動への取り組み

- 1934 日本石油(株)道路部と浅野物産(株)道路部の合同により「日本舗道株式会社」を設立
- 1993 企業行動倫理委員会設置
- 1994 環境保全活動推進のための諮問機関として環境管理委員会を設置
企業理念・行動指針制定
- 1995 シンボルマーク改定
- 1998 環境に関する基本理念と行動指針を表した
環境保全活動指針を制定
- 2003 日本舗道株式会社が、新日石エンジニアリング株式会社を
吸収分割して「株式会社NIPPOコーポレーション」に商号変更
法令遵守(コンプライアンス)体制構築
- 2004 環境報告書創刊
- 2005 CSR体制構築
- 2006 企業理念・行動指針改定
- 2007 CSRレポート創刊
- 2009 「株式会社NIPPO」に商号変更
- 2012 プラントエンジニアリング部門を
「JXエンジニアリング株式会社」に会社分割
- 2020 SDGs2030年目標設定

編集方針

CSRとは、Corporate Social Responsibility の略で、「企業の社会的責任」と訳されます。このCSRレポートでは、当社が取り組んでいるCSR活動を紹介し、一般の方にとってなじみの薄い建設業を事業活動の中心とする当社と、経済、環境、社会とのかかわりについて、多くの方々に知っていただくことを編集の基本方針としています。

このレポートをツールとして、当社と関わる多くの方々とのコミュニケーションをさらに充実させていきたいと思えます。

対象範囲と対象期間

対象範囲： 本社、支店12カ所、統括事業所・復旧営業所44カ所、
現業事業所271カ所(海外を除く)

対象期間： 2021年度
(2021年4月1日から2022年3月31日)
一部には、時期を明示した上で2021年度以前の情報と
2022年8月までの最新情報を掲載しています。

目次

企業理念/行動指針/企業行動5つの誓い	01
CSR活動への取り組み/ 編集方針/対象範囲と対象期間	02
会社概要	03
NIPPOの事業	05
トップメッセージ	07
CSRマネジメント	09
特集 人と組織の持続的な成長を目指す人材育成	11
ガバナンス	
・コーポレート・ガバナンス	13
・コンプライアンス	15
・リスクマネジメント	16
環境	
・環境マネジメントシステム	17
・舗装事業における環境保全活動	19
・舗装事業における環境・安全対策技術	21
・戦略事業における環境・安全配慮	23
社会性	
・お客様の信頼を得るために	25
・品質保証体制	26
・安全管理	27
・従業員とのかかわり	28
・社会とのコミュニケーション	31
読者の声を受けて	33
ESGデータ	35
ステークホルダーエンゲージメント	37
第三者意見	38

会社概要

(2022年3月31日現在)

社 名：株式会社 NIPPO

英 文 社 名：NIPPO CORPORATION

設 立：1934年(昭和9年)2月

本社所在地：〒104-8380
東京都中央区京橋1-19-11
TEL 03-3563-6751(代表)

代 表 者：代表取締役社長 吉川 芳和

資 本 金：15,324百万円

事 業 内 容：建設事業、アスファルト混合物等の製造・
販売事業、開発事業およびその他の事業

従 業 員 数：2,041人(男性1,689人、女性352人)
(単体)

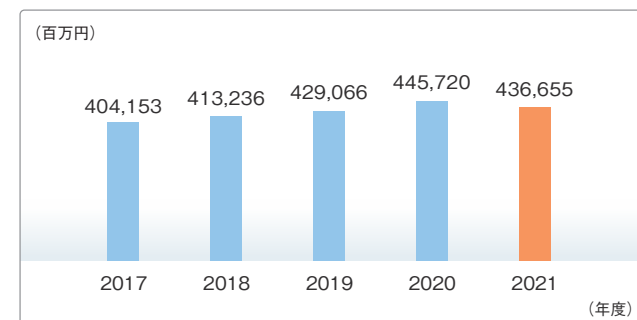
ホームページ：https://www.nippo-c.co.jp/

当社はアスファルト舗装工事を中心とする舗装土木工事およびアスファルト舗装の材料であるアスファルト混合物の製造および販売を中核事業としています。

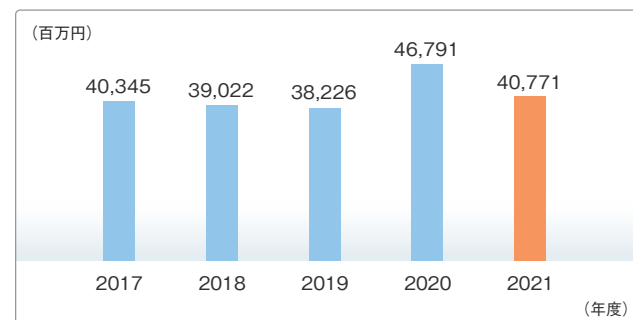
舗装土木工事の対象は、一般道路、高速道路、レーシングコース、空港から、市民の憩いの場となる公園、テニスコート、サッカーグラウンド、さらには庭先舗装まで広範囲に及びます。また、製造したアスファルト混合物は当社の工事で使用するだけでなく、ほかの舗装工事業者にも販売しています。

このほか、オフィスビルや工場等の建築工事、都市型マンションの分譲や市街地再開発等の開発(不動産)事業、土壌浄化事業、海外事業といった戦略事業を取り込み、事業基盤を強化しています。

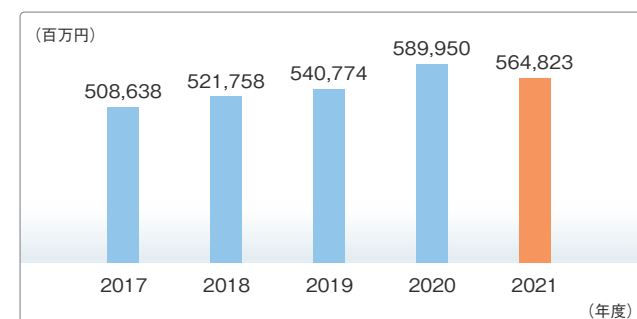
売上高(連結)



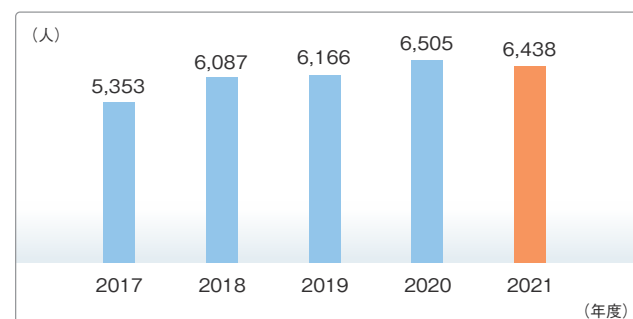
経常利益(連結)



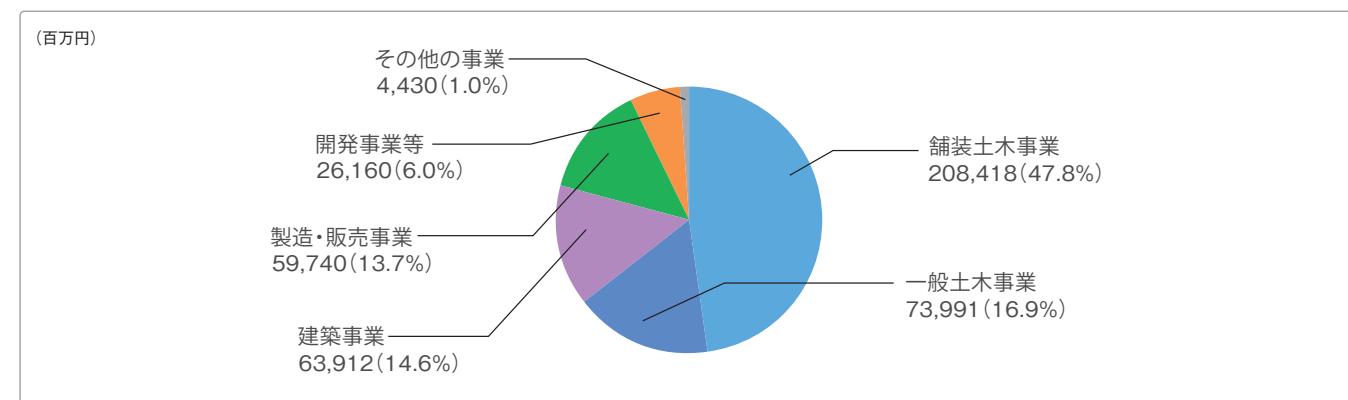
総資産額(連結)



従業員数(連結)

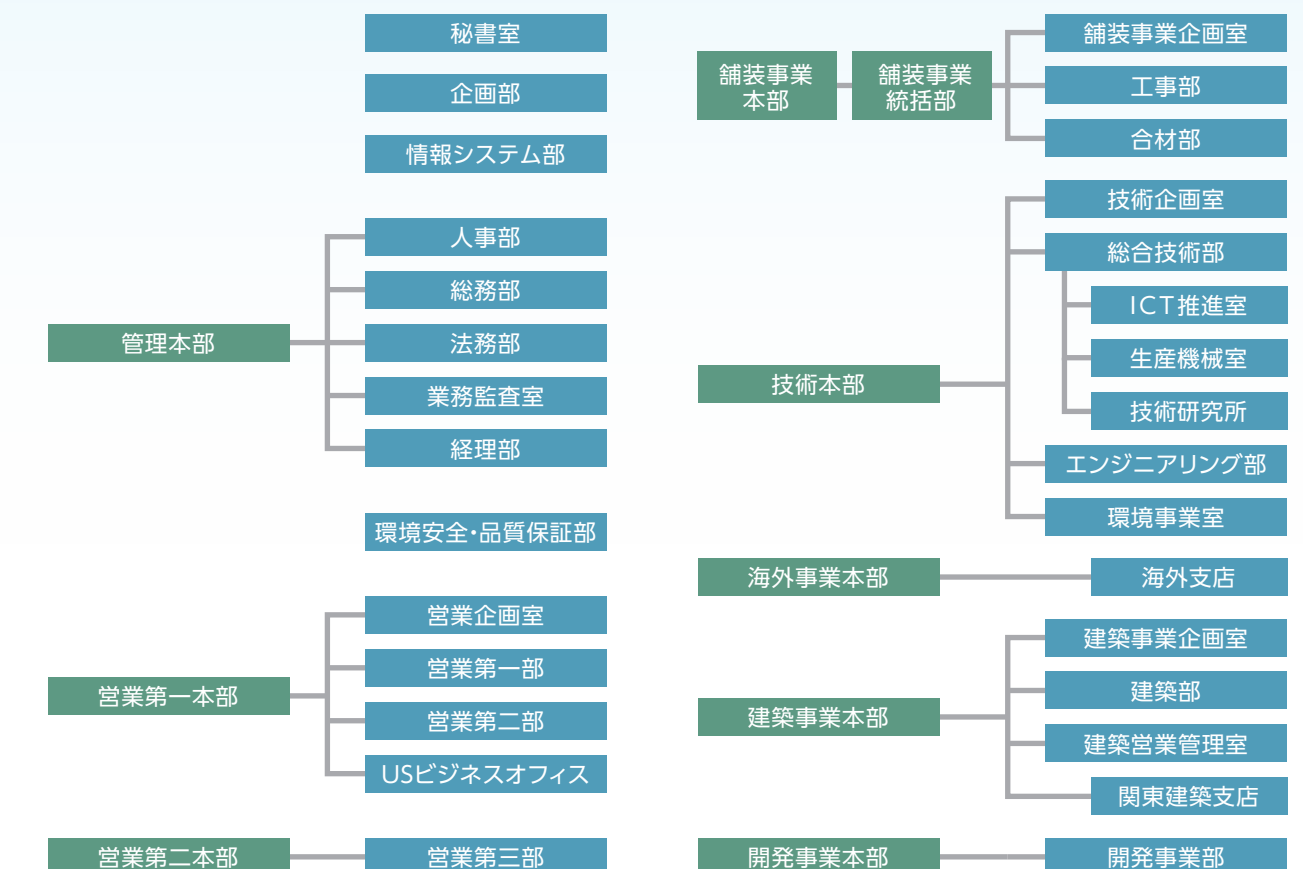


事業分野別売上高(2021年度)(連結)



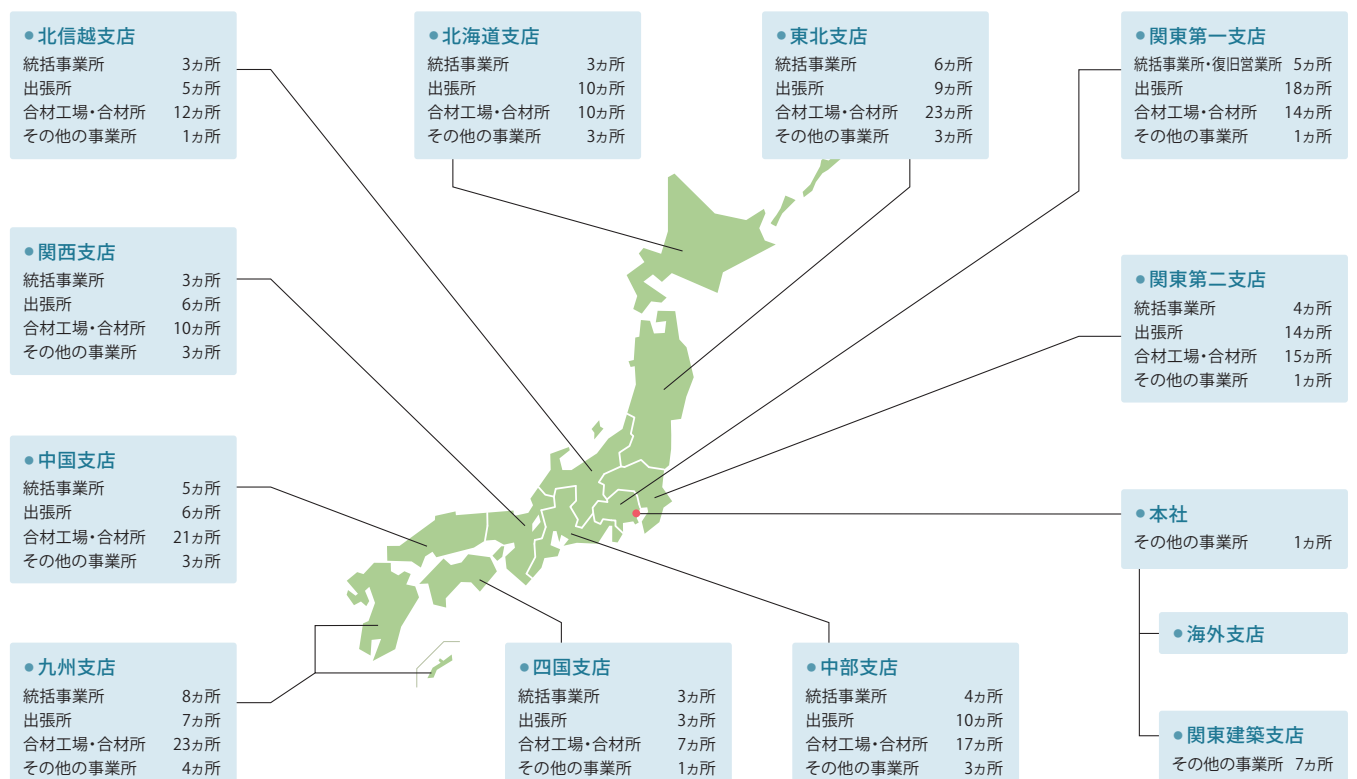
本社機構図

(2022年4月1日現在)



事業所一覧

(2022年4月1日現在)



NIPPOの事業

事業活動を通じて、社会の様々な場面で当社

の技術力を活かした「確かなものづくり」を実践し、豊かな社会の実現を目指しています。

※各事業内容は、グループ会社を含みます。

舗装土木事業

全国で、「安心・安全な、道・まちづくり」を行ってきました。高速道路、空港、スポーツ施設等のインフラ整備をはじめ、商業施設や住宅の駐車場等の様々な場面で、道づくりを通して、社会に貢献をしています。近年では、地球温暖化対策等の環境に寄与する舗装技術や、交通安全対策舗装、道路の維持修繕にも注力し、高い評価を得ています。また建設DXによる業務の省人化や高速化、高度化にも積極的に取り組んでいます。



工事名：高速横浜環状北西線他舗装他工事
発注者：首都高速道路(株)



工事名：令和2-3年度徳島出張所管内舗装修繕工事
発注者：国土交通省四国地方整備局



工事名：大井競馬場 本馬場入場路および馬通路拡張その他工事
発注者：東京都競馬(株)



工事名：パプアニューギニア独立国・ナザブ空港整備事業
ODA(政府開発援助)工事

一般土木事業

当社グループは、「土」とのかかわりから培ってきたノウハウを基に、各種土木事業の施工を実施してきました。これからも、自然との融和を図り、大地の有効活用によって、ゆとりある快適な環境を創出していきます。



ソーラー市島発電所



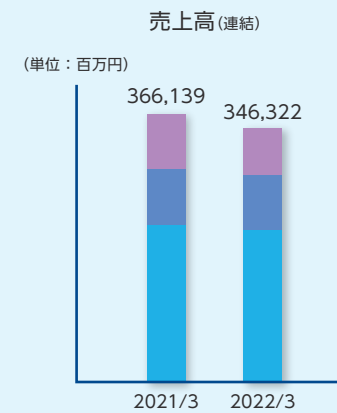
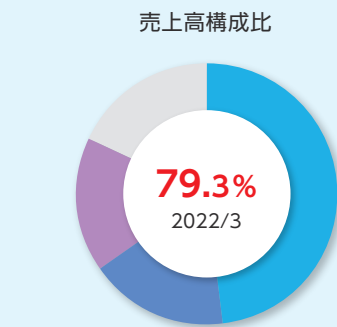
中部横断自動車道 佐久穂地区改良6工事

建築事業

1983年から事業を開始し30年以上にわたり実績を積み上げてきました。舗装土木事業のお客様やENEOSグループの工場施設、SS(サービスステーション)の建築をはじめとして、事務所、集合住宅、官庁建築等へ領域を広げています。お客様の要望や現場の状況に応じた綿密なコンセプトづくりから施工、メンテナンスまで、あらゆるニーズに満足していただける快適な空間を提供し続けます。



NIPPO本社ビル



■ 舗装土木事業
■ 一般土木事業
■ 建築事業

製造・販売事業



鹿児島合材工場



多賀城合材工場

アスファルト混合物を製造・販売する工場を全国に展開しています。これらの工場では、舗装工事等で現場から発生したアスファルト舗装廃材やコンクリート廃材を受け入れ、その全量を自社工場内で再資源化、再利用するリサイクルシステムを構築し、建設業における循環型社会形成へ取り組んでいます。また、事業活動における環境負荷低減のため、燃料のガス化や省エネ機器の導入等によりCO₂排出量の削減に取り組んでいます。



レミファルトECO
VOC(揮発性有機化合物)を含まない
全天候型常温補修材



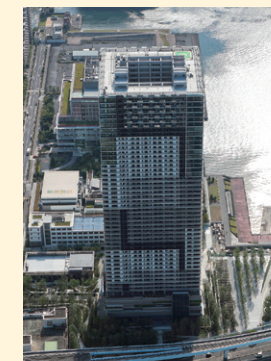
開発事業



アークス鍛冶屋町



アトラス倉敷ル・サンク



ブランドタワー豊洲

当社開発事業部門は、環境と安全に配慮し、永く安心できる住環境の提供を柱とした不動産事業を展開しています。「環境重視思想」「安全性の高い商品の供給」「資産価値の高い街・住まいの創造」をコンセプトとし、全国の主要都市において、マンション分譲事業「Le Cinq(ル・サンク)」シリーズ、賃貸事業「ABAS(アーバス)」シリーズおよび市街地再開発事業に取り組んでいます。また、近年は皆様のライフスタイルの向上に寄与する都市近郊の物流倉庫事業にも取り組んでいます。



その他



芦ノ湖スカイライン



長崎リゾートアイランド パサージュ琴海

当社グループは、有料道路の運営やゴルフ場・ホテルの運営、建設機械のリース・製造・修理などの事業も展開しています。

